



ニューサウスウェールズ州における 身近な新型コロナウイルス対策

(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 小杉 宗和 (埼玉県鴻巣市派遣)

はじめに

現在、新型コロナウイルス対策という同じ課題に対して世界各地で取り組みが進められていますが、感染状況や社会経済状況などの差異もあり、その取り組みの具体的な内容は国や地域によって異なります。ここオーストラリアでも特徴的な取り組みが進められており、また、同じオーストラリア国内でも、地域によってその具体的な対策に差があります。

そこで、本稿では、ニューサウスウェールズ州における身近で特徴的な新型コロナウイルス対策の取り組みを紹介します。

公共交通機関における対策

シドニー都市圏の公共交通機関（鉄道、バス、フェリー、ライトレール）では、利用者間の社会的距離を確保するために、モビリティ別に利用者数を制限しています。しかし、この制限は厳密なものではなく、違反者に対する罰則はありません。また、感染状況に応じて利用者制限数を変動させてきています。

そして、この制限の遵守を促すため、ニューサウス

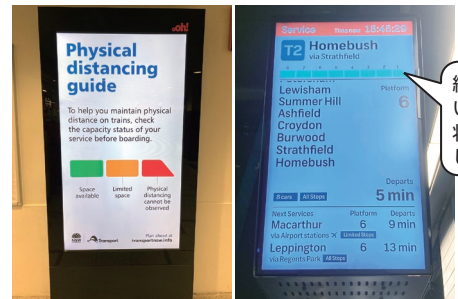


シドニー都市圏の鉄道車両内で見られるグリーンドット

ウェールズ州政府は、一定の社会的距離を確保できる着席場所や立ち位置を示す緑色の丸型の大きなシール（グリーンドット）を貼る取り組みを進め、その上に座るもしくは立つことを推奨しています。こうした取り組みを実施しているのは、ニューサウスウェールズ

州首相によると世界で同州のみとのことです。

また、鉄道の混雑具合を示す3段階の指標を駅構内やインターネット上で表示するとともに、運行中の各鉄道の混雑状況がどの段階にあるかをリアルタイムでプラットフォームやインターネットで示しています。こうした情報を活用し、乗客は混雑している



緑色が空いている状況を示している

る鉄道を避けることができず、シドニー都市圏主要駅構内に表示されている混雑具合を示す3段階の指標（左）と各鉄道の混雑具合をリアルタイムで示すプラットフォームの掲示板（右）

市中での接触感染防止策

オーストラリアでは、都市部を中心に、歩行者用押しボタン式信号機が普及しています。

しかし、この押しボタンを介して接触感染が広がる恐れがあるということで、シドニー中心部の歩行者用信号機は、2020年3月下旬から自動化され、押しボタンを押すこと



ができないようにされました。なお、この自動化の動きは、オーストラリアの他都市にも広がりました。

最後に、世界におけるさまざまな新型コロナウイルス感染症対策が成果を上げることを祈念いたします。